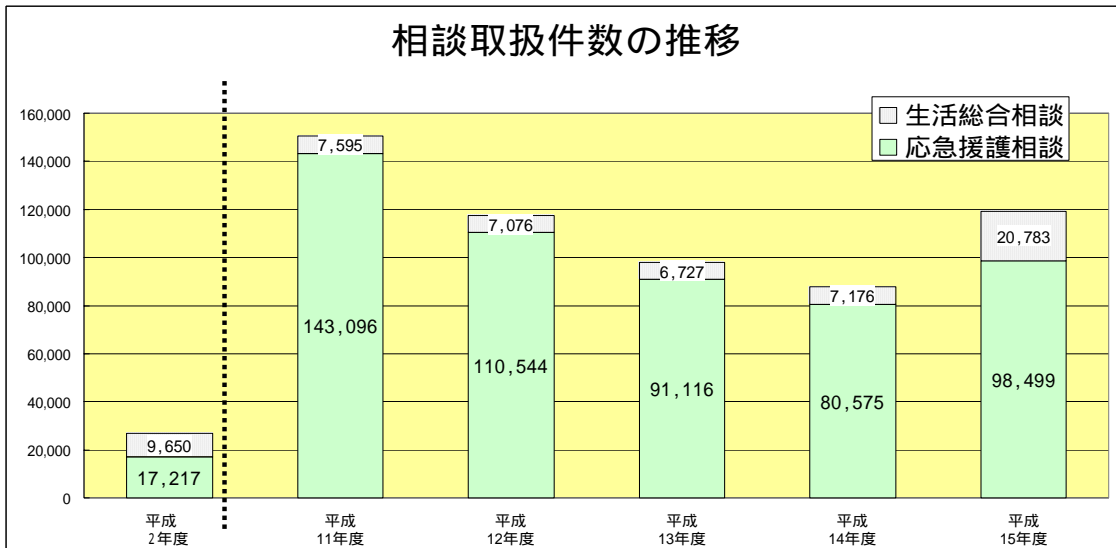


# 15年度の相談実績

15年度の相談実績は、受付件数で112,305件、相談取扱件数で119,282件と14年度に比べそれぞれ40.3%、35.9%の大幅増となっている。

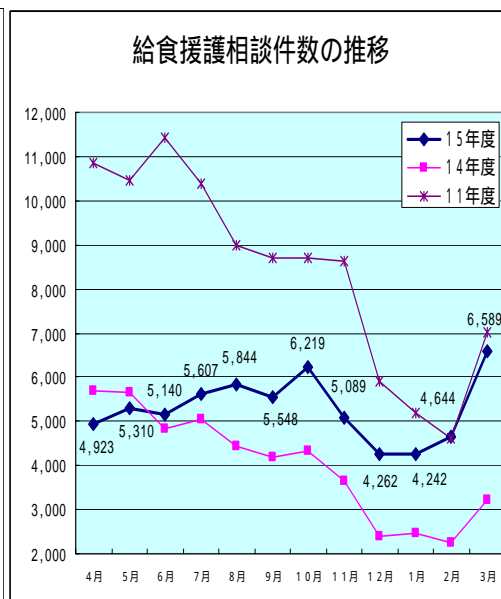
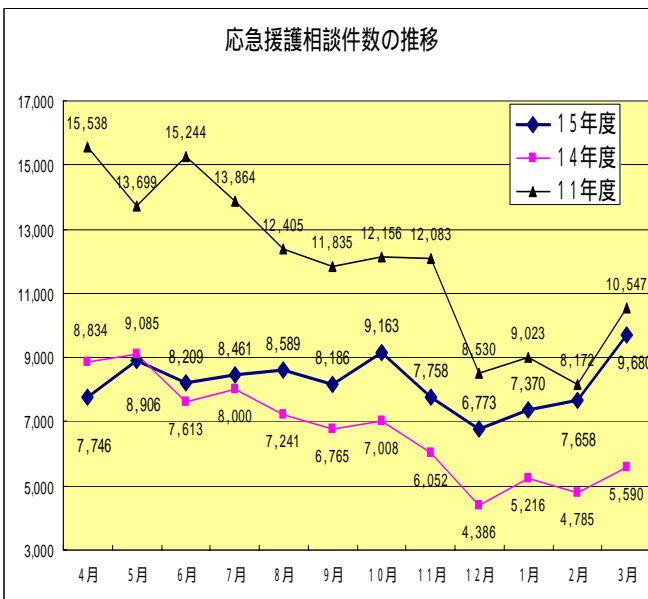
応急援護相談が増加したのは、7月以降給食相談が14年度に比べ大幅に増加したことによる。

生活総合相談が増加したのは、15年7月から新相談体制がスタートしたことに伴い「利用者カード」を発行したため、その作成に関する相談が増加したこと、高齢者カードの更新の際にも生活相談を受けるよう指導していること、給食等の応急援護相談に繰り返し来所する者に対して生活相談を受けるよう指導していることなどによる。



## 応急援護相談取扱件数の推移

		平成2年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
応急援護	宿泊	9,713	31,973	29,597	26,383	24,135	24,410
	給食	4,809	100,799	70,876	55,935	48,171	63,417
	物品	1,601	8,690	8,124	6,957	6,441	8,823
	交通費	1,094	1,634	1,947	1,841	1,828	1,849
	計	17,217	143,096	110,544	91,116	80,575	98,499

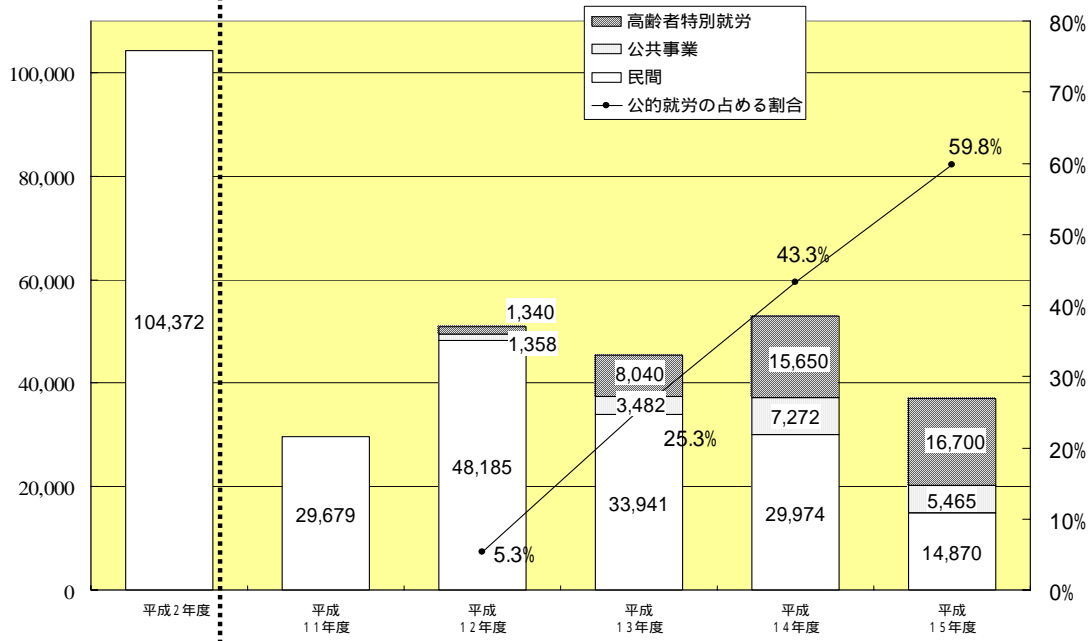


# 15年度の職業紹介実績

15年度の職業紹介実績(窓口紹介分)は、総数では37,035件で、14年度の52,896件と比べ、15,861件(29.9%)の減となりました。民間求人に限れば、14,870件にとどまり、14年度の29,974件に比べ、ほぼ半減(50.4%の減)になっている。

また、センターにおける紹介に占める公的就労(高齢者特別就労と公共事業、公園・道路清掃や除草などを内容とする仕事、輪番で紹介。)の割合が、14年度の43.3%からさらに上昇し、ほぼ6割(59.8%)となっている。

## 窓口紹介数の推移(過去5年)



## 15年度月別・窓口紹介実績

